

福島第一原子力発電所の 要員強化策について

TEPCO

2020年2月7日
東京電力ホールディングス株式会社

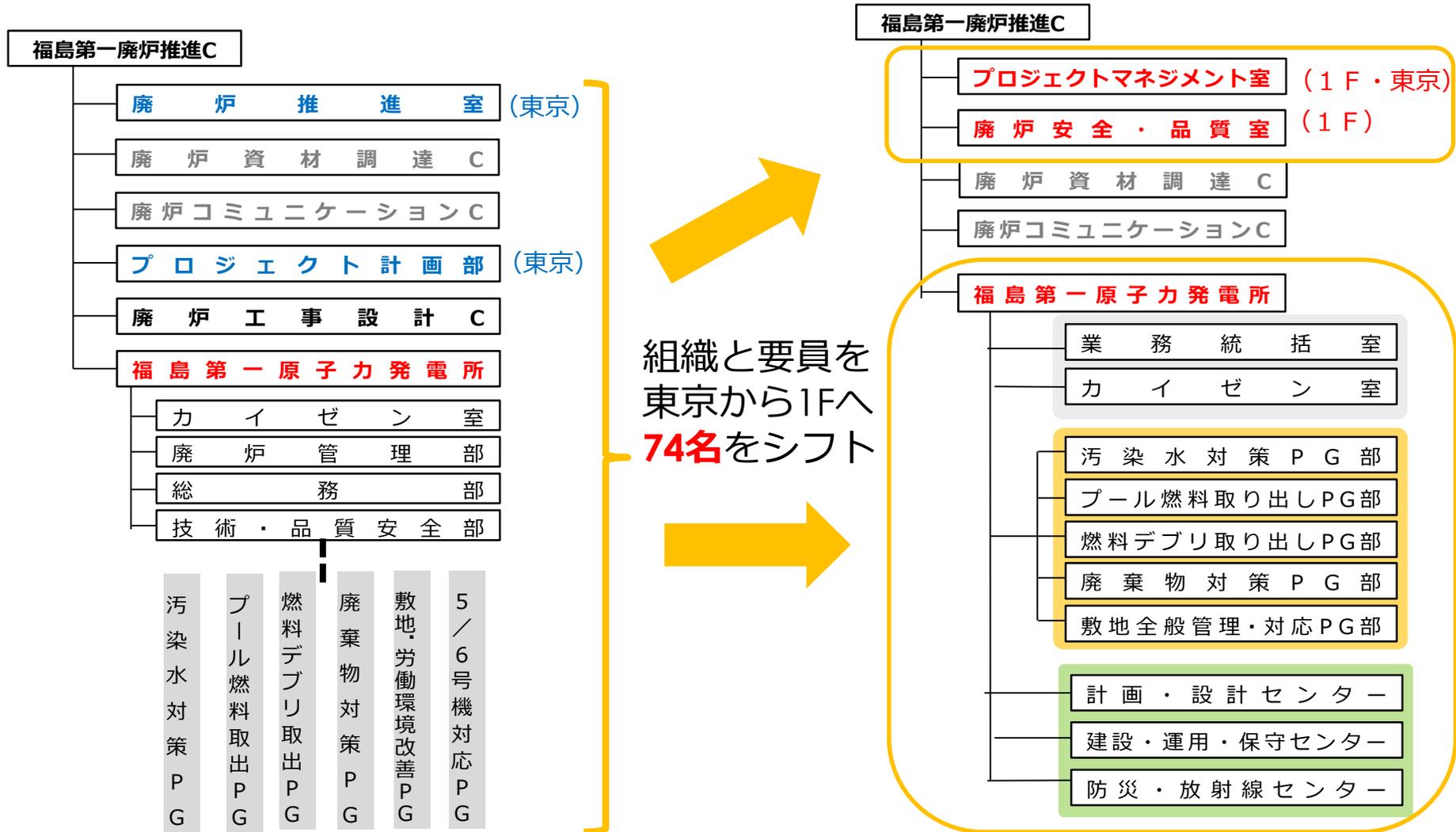
1月16日に開催された原子力規制委員会殿と弊社経営層による意見交換において、弊社からご説明させていただいた「要員」に関する事項について、具体的な内訳をご説明させていただきます。

※今後の調整により、若干の人数変動の可能性が 있습니다。

1. 福島第一原子力発電所（1F）への要員シフトの内訳について
2. 福島第一原子力発電所（1F）における要員強化（純増）の内訳について

1. 1Fへの要員シフトの内訳について

- 現場・現物重視の観点から1Fを中心とした組織に改編、要員74名を1Fにシフト



※今後の調整により、若干の人数変動の可能性あります。

2. 1 Fにおける要員強化（純増）について **TEPCO**

- 1 F純増（※）は、2019年度30~40名、2020年度も同数以上を予定

（※）増分(下記1,2)と減分(下記3)との差

1. 新入社員の採用＜増分＞

- 2019年度新入社員数（38名）は全員1 Fに配属済、2020年度も同数程度の新入社員を1 Fに配属予定。

2. 社外専門人財の登用＜増分＞

- 2019年度は43名（内1F配属数は、年度内に増員予定の8名を含む計35名）を増員、2020年度も2019年度相当以上を増員予定。
- キャリア採用や特別嘱託等により必要な社外専門人財を確保し、防災・放射線センター、廃炉安全・品質室等を中心に配置予定。

3. 退職＜減分＞

- 定年を含む退職者数は、毎年40~50名で推移。

以下により 1 F の要員を強化していく予定です。

※今後の調整により、若干の人数変動の可能性がります。

- 現場重視の観点から 1 F を中心に一体運営をはかるため、社員74名を東京から 1 F へシフト
- 上記に加え、以下により 1 F の体制を強化
 - 新入社員（前年度と同数程度）を 1 F に配属
 - 強化が必要な組織（防災・放射線センター、廃炉安全・品質室等）に必要な社外専門人財（50名程度）を確保
 - カンパニー外からの社内要員再配置も今後検討・調整

以上